

経営者に聞く

SDGsへの取組みで

「研究開発型メーカー」として

お客様と共に社会貢献してまいります

横浜油脂工業株式会社

代表取締役社長 本多 秀夫 (当協会参与)



横浜油脂工業(株)は、昨年2019年12月に設立90周年を迎えることができました。感謝。

(歴史)

当社の源流(DNA)は、明治26年(1893)創業の横濱魚油(株)でした。魚油の精製、コブラの搾油が中心でした。大正4年(1915)、東京工業試験所の辻本満丸博士等の指導のもと、日本で初めて硬化油生産の工業化に成功し、硬化油製造を開始しました。

硬化油製造業は、石鹼製造業、油脂分解によるグリセリンおよび脂肪酸製造業とともに日本初期の油脂化学工業でありました。主に、硬化油、マーガリン、ショートニングなど製造し、海外へ輸出していました。

その後、関東大震災(大正12年、1923)で会社が大被害を受け、分社分離、3つに分散されましたが、会社を合併し、昭和4年(1929)現横浜油脂工業(株)を創立しました。魚油精製・石鹼製造・マーガリン・油脂加工などを中心とした研究開発型メーカーでした。

(主な取組み)

昭和20年(1945)

自社ブランド(Linda)の基盤を、石鹼・洗浄剤の製造に大転換しました。

昭和25年(1950)

大手化粧品の協力工場として、50年間、洗濯石鹼・浴用石鹼・高級化粧品石鹼などを製造開始。

昭和37年(1962)

食用油脂事業を始め、マーガリン・ショートニング・食品業務用離型油、パン・ケーキ用離型油も製造開始。

昭和38年(1963)

栄養補助食品、健康食品分野にも進出。

昭和41年(1966)

各種洗浄剤分野に進出。
→日本で初めて門型洗車機メーカー(ギネスブック登録)の純正ケミカル・液体WAXを開発しました。

昭和56年(1981)

空調設備機器用ケミカル、ビルメンテナンス用ケミカルへ進出。

昭和59年(1984)

精密洗浄剤分野へ進出
→液晶ガラス基板洗浄剤に特化し、横浜に工場建設しました。

平成14年(2002)

本社横浜工場ISO9001取得。

平成15年(2003)

機能性食品素材加工へ進出(COQ10中間加工)

平成19年(2007)

神奈川県『秦野テクノパーク』に「秦野研究開発工場」を竣工し、全社研究員を集合し、富士山や丹沢を望む環境の中で研究開発をしています。

平成23年(2011)

秦野工場ISO9001、ISO14001取得。

(現在)

車アフターマーケットのケミカル、ビルメンテナンス用、空調機器用ケミカル、電子材料ケミカルの精密洗浄剤の研究・製造・販売、及び機能性食品素材加工、離型油の食品分野も研究開発を行っているニッチ分野のBtoBの専門メーカーです。

(グローバル展開の開始)

平成11年(1999)

大韓民国・台湾・上海・天津・常州の各工場展開

(100周年に向けてのビジョン)

1. 経営理念の尊重・実践!

①品質主義……『研究・商品開発』を通して貢献する。「品質」「人格」「社風」

②消費者主義……『信頼』を守り通す。社員・お客様「継続は力なり」

③堅実主義……まじめにコツコツと。毎日の努力「お客様と成長」「社員と成長」

2. 大きな変化に柔軟対応・進化!

→成長分野、世界企業のニッチ分野でトップとなる商品開発をする。

3. 国内事業の新しい展開!

4. 海外事業の強化!

5. 基盤技術の更なる専門特化・深耕!

→『乳化・分散・可溶化・表面改質』のコア技術は変えない。対象物を変え、お客様と共に成長していく。

神奈川県で生まれ、育てられた中小企業ですが、皆様方のおかげで90年を超えることができました。全社ベクトルを合わせ“感謝と奉仕”をモットーに努力してまいります。

今後ともご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。